

稲・大豆作情報（NO. 11）

1. 水稲作況情報田の生育概況(9月8日現在)

品 種 場 所	移植日 栽植株数	年 次	現在の生育状況				概況
			草 丈 cm	茎 数 本/m ²	主稈 出葉数	葉色	
夢しずく 佐賀市本庄町	6/15 17.5株/m ²	本 年 平 年 平年比	出穂期 8月20日 (平年より4日遅い)				9月1半旬は平年より気温が高かったが、2度の台風接近で日照時間は平年を下回った。 夢しずく：糊熟期 さがびより：乳熟期 ヒヨクモチ：出穂期
さがびより 小城市芦刈町	6/22 16.1株/m ²	本 年 平 年 平年比	出穂期 8月30日 (平年より1日早い)				
ヒヨクモチ 小城市牛津町	7/1 18.5株/m ²	本 年 平 年 平年比	77.1	497	15.6	41.4	

注1) 各品種 前作：麦

注2) 施肥及び病害虫防除は地区基準に準ずる。

2. 管内水稲の概況

【夢しずく】 糊熟期～黄熟期始期

※成熟期見込み 9/18～25

【ヒノヒカリ、さがびより】 乳熟期

※成熟期見込み 10/10～18

【ヒヨクモチ】 出穂始め～出穂期

※成熟期見込み 10/25～11/5

3. 今後の水稲管理

○台風後管理

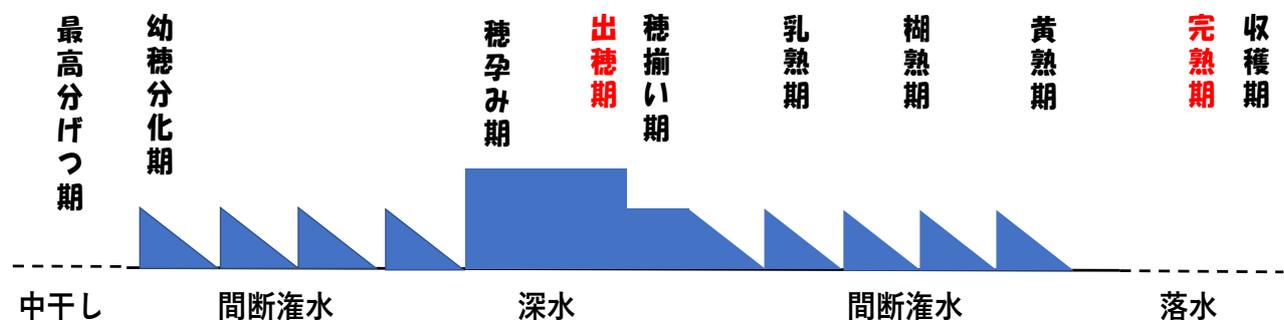
速やかに溜めていた水を排水し、新鮮な水と入れ換え、根の機能回復や生育回復を促す。

また強風による受光体制等の乱れにより病気・害虫の発生が拡大する恐れがあるため、田廻りを励行し、適正防除に努める。

○今後の管理

生育ステージに応じた水管理を行う。

出穂期～開花期までは要水量が多いため、浅水管理とし、その後は間断灌水に移行する。地固めが不十分な圃場は断水期間を長めにとるなど、徐々に地固めと茎の充実を図る。早期落水は厳禁。



※収穫7日前までは入水する

○病害虫情報(発生および防除)

台風の影響により草姿が乱れ、病気や害虫の発生拡大が懸念される。必ず圃場を確認し、防除が必要な場合は適切に防除を実施する。

◆トビイロウンカ

- ・今年も飛来波が多く、各地域で坪枯れの発生が確認され、増加傾向にある。
- ・箱剤に関係なくウンカが増加しているため、必ず圃場の発生状況を確認し、増殖がみられた場合は防除を行う。
- ・本年は発生が平年より多く、一部圃場では発生が急激に増加しており、今後減収等の被害を生じる恐れが高まっている（農業技術防除センターの病害虫発生予察予報第5号）。
※最新の飛来状況については、農業技術防除センターのホームページから確認してください。

農技防 HP 参照：病害虫情報：<http://www.pref.saga.lg.jp/kiji00368010/index.html>

◆コブノメイガ

- ・今年、飛来波が多く、一度の防除では発生を抑えきれず、食害株率が平年より高い。
- ・発蛾最盛期7日後の幼虫心化揃い期（発生予測図2の赤枠）の防除効果が高いため、必ず圃場ごとの発生状況を確認し、適期防除を実施する。
- ・9月の発生量は、多い予測である（農業技術防除センターの病害虫発生予察予報第5号）。

農技防 HP 参照：発生予察予報：<http://www.pref.saga.lg.jp/kiji00373814/index.html>



図1 トビイロウンカ各世代の発生予測(第7版、2020年9月4日作成)

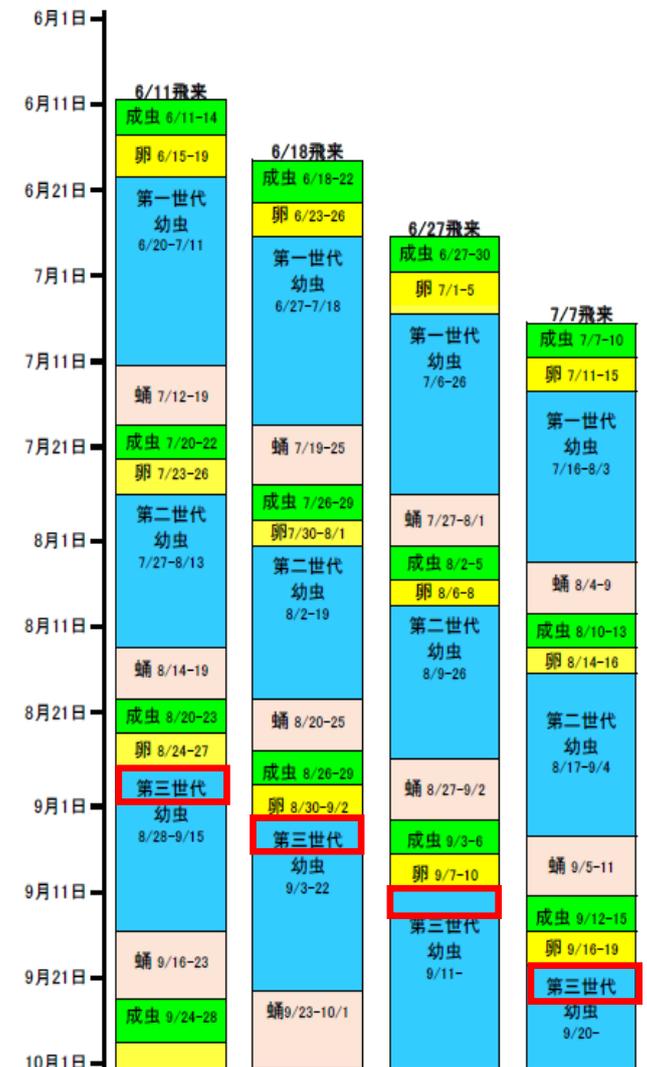


図2 コブノメイガ各世代の発生予測(第6版、2020年8月19日作成)

◆斑点米カメムシ類

- 9月の発生量は、多い予測である（農業技術防除センターの病害虫発生予察予報第5号）。
- 乳熟期（穂揃い期の約10日後）頃の防除が基本であるが、多発生時は穂揃い期とその7～10日後の2回に薬剤防除を行う。
- 山麓部や平坦でも圃場周辺の雑草の発生が多い場合は、乳熟期の防除を徹底する。
- 農薬の散布は、カメムシが穂に上ってくる夕方に行うと効果が高い。

◆いもち病

- 9月の穂いもち発生量は、平年並みの予測であるが（農業技術防除センターの病害虫発生予察予報第5号）、一部の圃場で多発生を確認している。
- 上位3葉に病斑が確認される場合は、穂いもちに進展する前に薬剤防除を行う。

◆紋枯病

- 9月の発生量は、やや多い予測である（農業技術防除センターの病害虫発生予察予報第5号）。
- 田回りを励行し、病斑が上位3葉の葉鞘にみられる場合はバリダシン液剤(収穫14日前まで)等で直ちに防除を行う。



写真 いもち病（農業技術防除センターより）



写真 紋枯病

◆粃枯細菌病

- 晩生品種（ヒヨクモチ等）において、強風の粃ズレ等で菌が感染し、曇天が続く場合は、粃枯細菌病等の穂枯れが発生しやすくなるため、出穂期～開花期に防除をブラシン（収穫7日前まで）等で実施する。

3. 大豆管理

台風通過後は茎葉の裂傷により、葉焼病や紫斑病などの病害発生に注意する。また倒伏した場合はできるだけ引き起こして、収量・品質低下を抑える。

○排水対策

今後も局地的な豪雨に備えるため、排水溝の整備を行い、排水口への確実な誘導を図る。リターンデッチャや畔塗り機で施工した額縁明渠についても適正管理を行う。

○雑草防除

- ・イネ科雑草が多いところでは、ポルトフロアブル等で防除する。
- ・アサガオ類やホオズキは、繁殖力が強く、まくら地や畦からも圃場内へ侵入し種子を落とすため、圃場外の除草も徹底する。圃場内に発生している場合は、完全に抜き取りを実施する。

○病虫害防除

ハスモンヨトウ

- ・9月の発生量は、やや多い予測である（農業技術防除センターの病虫害発生予察予報第5号）。防除を実施した圃場でも、新たな白変葉を発見した場合は、早急に防除を実施する。

マメハンミョウ

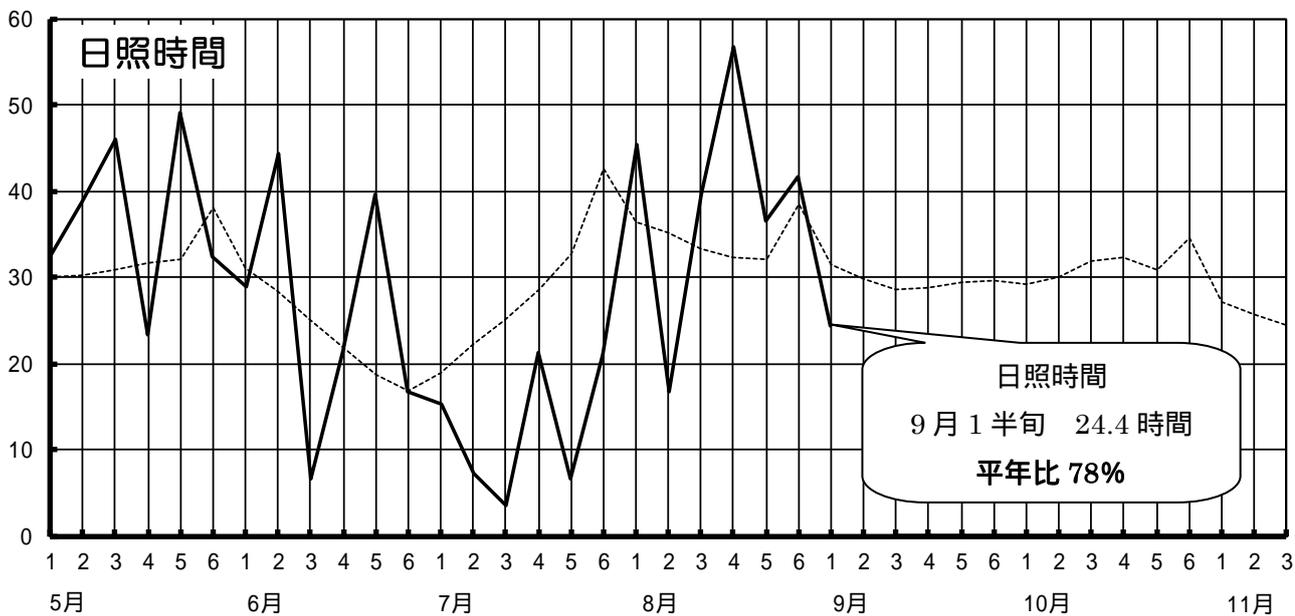
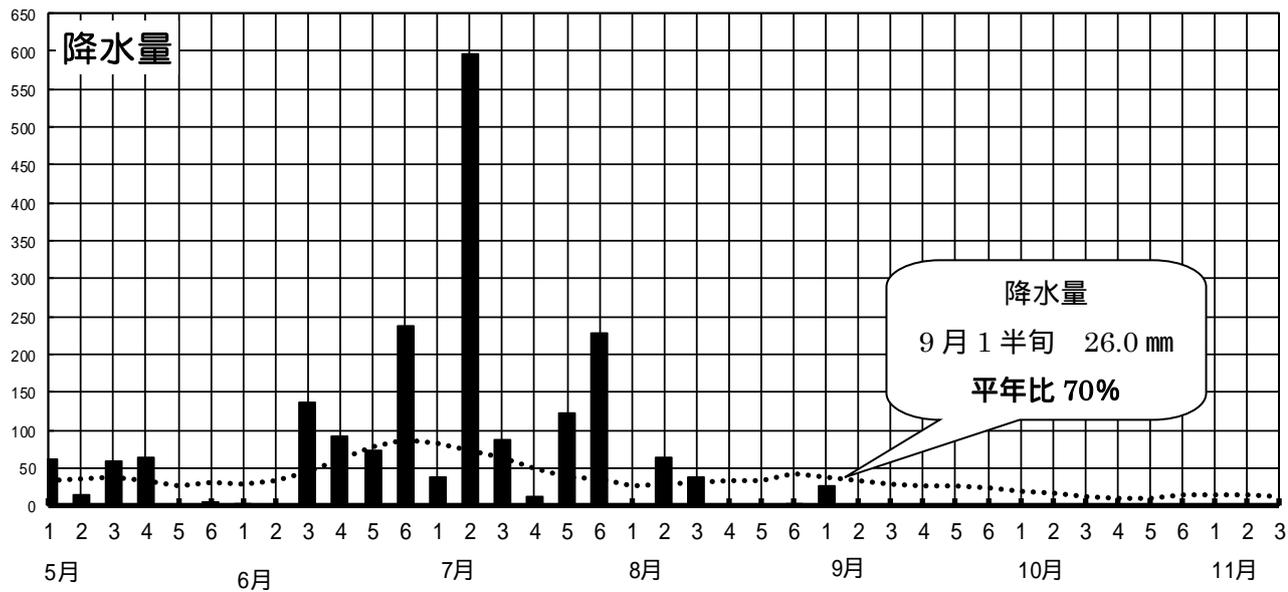
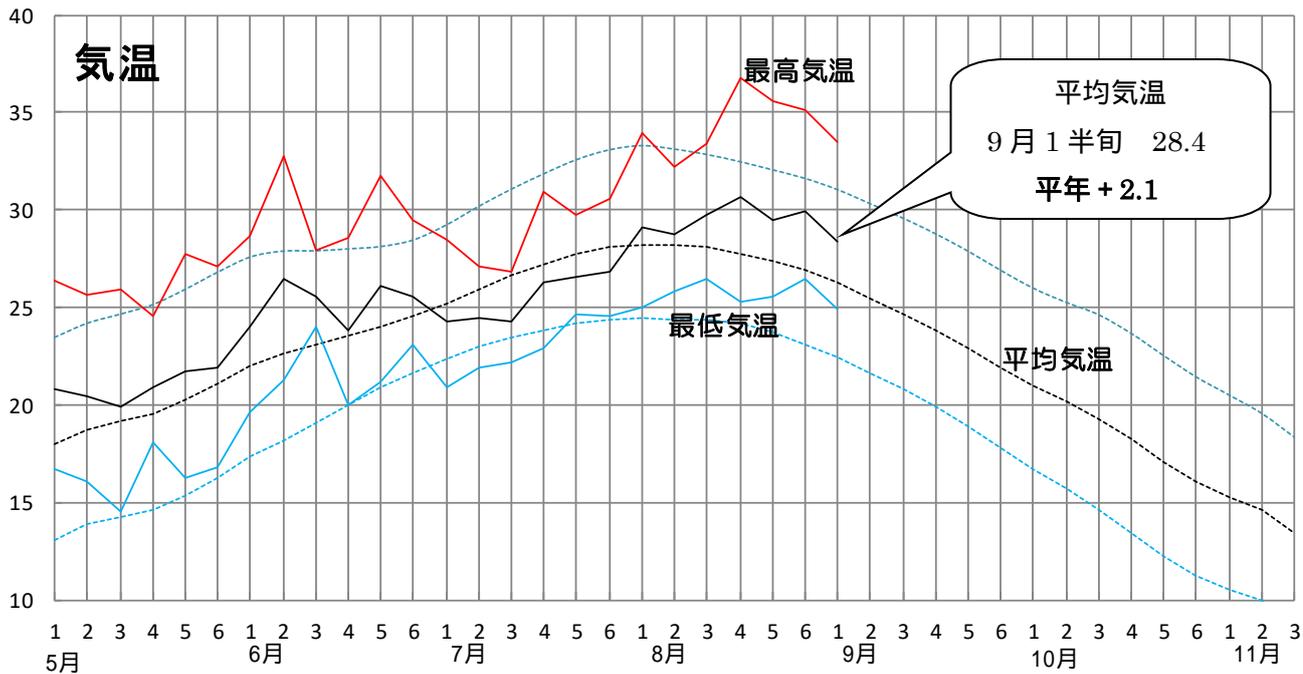
一部の圃場で、局地的に発生し加害がみられる。早期発見に努めスポット的に薬剤散布する（スミチオン乳剤等）。

カメムシ類

- ・9月の発生量は、やや多い予測である（農業技術防除センターの病虫害発生予察予報第5号）。播種時期に幅があるため、発生のタイミングは圃場により異なると思われるが、今後の発生に注意し、莢伸長初期～子実肥大中期に防除を行う。

令和2年産水稻生育期間気象グラフ（アメダス：佐賀）

佐城農業改良普及センター



令和2年産 水稻の収穫期予想積算表【9月7日現在】

月	日・曜	平均気温		品 種											
		平年値	本年値	夢しずく				ヒノヒカリ		さがびより			ヒヨクモチ		
		°C	°C	8/14頃出穂	8/17頃出穂	6/15移植 8/20頃出穂	8/23頃出穂	6/20移植 8/27出穂	8/30出穂	6/20移植 9/1出穂	9/3 出穂	6/20移植 9/4 出穂	9/7 出穂	6/27移植 9/10 出穂	
積算気温 最低値		平坦 880°C				平坦 900°C		平坦 900°C			平坦 950°C				
積算気温 最高値		平坦 1,050°C				山麓 1,050°C		平坦 1,050°C			平坦 1,150°C				
出穂後日数 最短～最長		33～39日				40～50日		40～45日			46～60日				
黄熟割合 早限～遅限		75～90%				75～90%		75～85%			90～95%				
籾水分 早限～遅限		26～23%				28～25%		27～22%			28～22%				
9月	14 月	24.5		880	788	696	610	610	491	400	339	281	254	175	99
	15 火	24.3		904	812	721	634	634	515	425	363	305	278	199	123
	16 水	24.2		928	836	745	658	658	539	449	387	329	302	224	148
	17 木	24.0		952	860	769	682	682	563	473	411	353	326	248	172
	18 金	23.8		976	884	793	706	706	587	497	435	377	350	271	195
	19 土	23.7		1,000	908	816	730	730	611	520	459	401	374	295	219
	20 日	23.5		1,023	931	840	753	753	634	544	482	424	397	319	243
	21 月	23.3		1,047	954	863	776	776	658	567	505	448	421	342	266
	22 火	23.1		1,070	978	886	800	800	681	590	529	471	444	365	289
	23 水	22.9		1,093	1,000	909	822	822	704	613	551	494	467	388	312
24 木	22.7		1,115	1,023	932	845	845	726	636	574	516	489	411	335	
25 金	22.5		1,138	1,046	954	868	868	749	658	597	539	512	433	357	
26 土	22.3		1,160	1,068	977	890	890	771	681	619	561	534	455	379	
27 日	22.1		1,182	1,090	999	912	912	793	703	641	583	556	477	401	
28 月	21.9		1,204	1,112	1,021	934	934	815	725	663	605	578	499	423	
29 火	21.7		1,226	1,134	1,042	956	956	837	746	685	627	600	521	445	
30 水	21.5		1,247	1,155	1,064	977	977	858	768	706	648	621	543	467	
10月	1 木	21.3		1,269	1,176	1,085	998	998	880	789	727	670	643	564	488
	2 金	21.1		1,290	1,198	1,106	1,020	1,020	901	810	749	691	664	585	509
	3 土	21.0		1,311	1,219	1,127	1,041	1,041	922	831	770	712	685	606	530
	4 日	20.8		1,331	1,239	1,148	1,061	1,061	943	852	790	733	705	627	551
	5 月	20.6		1,352	1,260	1,169	1,082	1,082	963	873	811	753	726	647	571
	6 火	20.5					1,102	1,102	984	893	831	774	747	668	592
	7 水	20.3					1,123	1,123	1,004	914	852	794	767	688	612
	8 木	20.2					1,143	1,143	1,024	934	872	814	787	708	632
	9 金	20.0					1,163	1,163	1,044	954	892	834	807	728	652
	10 土	19.8					1,183	1,183	1,064	974	912	854	827	748	672
	11 日	19.7					1,202	1,202	1,084	993	931	874	847	768	692
	12 月	19.5					1,222	1,222	1,103	1,013	951	893	866	787	711
	13 火	19.3					1,241	1,241	1,122	1,032	970	912	885	807	731
	14 水	19.1					1,260	1,260	1,142	1,051	989	932	904	826	750
	15 木	18.9					1,279	1,279	1,160	1,070	1,008	950	923	845	769
16 金	18.7					1,298	1,298	1,179	1,089	1,027	969	942	863	787	
17 土	18.5					1,316	1,316	1,198	1,107	1,045	988	961	882	806	
18 日	18.2					1,335	1,335	1,216	1,125	1,064	1,006	979	900	824	
19 月	18.0					1,353	1,353	1,234	1,143	1,082	1,024	997	918	842	
20 火	17.8					1,370	1,370	1,252	1,161	1,099	1,042	1,015	936	860	
21 水	17.5								1,179	1,117	1,059	1,032	953	877	
22 木	17.3								1,196	1,134	1,076	1,049	971	895	
23 金	17.1								1,213	1,151	1,094	1,066	988	912	
24 土	16.9								1,230	1,168	1,110	1,083	1,005	929	
25 日	16.7								1,247	1,185	1,127	1,100	1,021	945	
26 月	16.5								1,263	1,201	1,144	1,117	1,038	962	
27 火	16.3								1,280	1,218	1,160	1,133	1,054	978	
28 水	16.2								1,296	1,234	1,176	1,149	1,070	994	
29 木	16.0								1,312	1,250	1,192	1,165	1,086	1,010	
30 金	15.8								1,328	1,266	1,208	1,181	1,102	1,026	
31 土	15.7											1,197	1,118	1,042	
11月	1 日	15.5											1,212	1,133	1,057
	2 月	15.4											1,227	1,149	1,073
	3 火	15.3											1,243	1,164	1,088
	4 水	15.1											1,258	1,179	1,103
	5 木	15.0											1,273	1,194	1,118
	6 金	14.9											1,288	1,209	1,133
	7 土	14.7											1,302	1,224	1,148
	8 日	14.6											1,317	1,238	1,162
	9 月	14.4											1,331	1,253	1,177
	10 火	14.2											1,346	1,267	1,191

《収穫適期の目安》

◎穂軸の先端（穂先）から、穂長の1/3～1/4程度が枯れ、1穂粒数の1割程度が活青米で残っている状態。
◎刈り取り適期の籾水分は、「夢しずく」で26～23%（平坦上～山麓は29～25%）、「ヒノヒカリ」で28～25%、「さがびより」で26～22%、「ヒヨクモチ」は28～22%となっております。

早刈りは、玄米の充実不足による「青未熟粒」や「死米」が発生しやすくなります。「青未熟粒」が多いと食味が劣り、また収量も低下しますので、早刈りは避けましょう。

収穫のポイント

- 積算表はあくまで目安です。
- 圃場毎の熟れ具合を確認したうえで、収穫日を決定してください。
- 早期落水は充実不足により、品質低下の原因となります。必ず間断灌水を実施して、根の活力維持に努めて下さい。
- コンバイン収穫前には、麦などの異種穀粒 や異物が混入しないように清掃点検を行いましょ。
- 日中の高温条件下での収穫となり、籾水分も高いので、収穫後はできるだけ、速やかに通風・乾燥を行いましょ。一時堆積の時間が長いと、籾の温度が高くなり、ヤケ米が発生します。